

中越大震災から20年 住民参加の津波避難など 大規模地震に備えて防災訓練を実施

市内で28人の尊い命が失われた平成16年10月23日の新潟県中越大震災から今年で20年を迎えます。

この節目の年に、長岡市は、今年1月の能登半島地震の教訓も踏まえ、大規模地震発生および津波警報発表を想定した住民参加型の避難訓練を実施します。寺泊地域での津波避難や、183カ所の指定避難所の開設運営など、3,200人規模で初動対応訓練を行います。

今後も、関係機関や事業者との連携、情報収集・発信の強化とともに、市民の防災意識の向上と地域の防災力強化の取組を進め、市全体の災害対応力の維持・向上に取り組んでまいります。

令和6年度 長岡市防災訓練

- 1 日 時 9月1日(日) 午前8時30分～正午
- 2 会 場 市指定避難所(183カ所)、津波指定緊急避難場所(8カ所)、アオーレ長岡 東棟4階災害対策本部会議室 ほか
- 3 災害想定 市内で震度6強の地震発生と津波警報発表
地震により家屋倒壊、がけ崩れ、道路寸断に伴う孤立地区発生
- 4 参加者 約3,200人
〔 住民 約2,500人(自主防災会・町内会など延べ112団体)
市職員・施設管理者 約700人 〕
- 5 主な訓練内容
 - (1) 津波ハザードマップ改訂を踏まえた津波避難訓練【新規】
(寺泊野積センターほか7会場)
 - ・ 津波警報を受けて避難情報を発信
 - ・ 津波浸水想定区域外の市指定緊急避難場所へ避難(5団体約220人)
 - ・ 避難後、会場ごとにAED講習や炊き出し訓練などを実施
 - (2) 住民避難・指定避難所開設運営訓練【拡充】
 - ・ 市指定避難所を開設(市内183カ所)
 - ・ 住民による避難所の解錠訓練【新規】
 - ・ 住民企画の防災訓練の実施(情報伝達訓練、避難訓練)
 - ・ 住民と市職員が協働で指定避難所を運営(避難者受付や施設利用方法の確認、段ボールベッドの組立体験など)(107団体、約2,280人)

(3) その他

- ① NTT東日本新潟支店との連携によるドローンを活用した被災現場の映像配信【新規】
※詳細は別紙1のとおり
- ② 市災害対策本部会議訓練（11時からの会議に市長、市議会議長が参加）
- ③ 津波監視カメラの映像配信【新規】
- ④ 関係機関リエゾン（情報連絡員）の災対本部での受入れ
参加機関：NTT東日本新潟支店、東北電力ネットワーク、
長岡警察署、日本赤十字社新潟県支部
- ⑤ 物資の地域内輸送拠点の開設・運営訓練

※上記訓練の当日の流れは、別紙2のとおり

6 その他

- ・当日は、訓練と分かるように配慮しながら、緊急告知FMラジオやSNSにより地震発生情報および避難情報などを実際に発信します。
- ・取材を希望される場合は、駐車場の確保などが必要なため、8月30日（金）までに下記へご連絡願います。

【 問い合わせ
危機管理防災本部 入澤 電話0258-39-2262 】